



手話を一緒に

笑顔で拍手喝采



職員の出し物はいつも大好評!

朝夕が過ごしやすくなり季節となりました。9月13日、ご利用の方々へ日頃の感謝を込めて、「イベント「敬老会」を開催しました。

開会後、おかげとひよこが登場し、コミカルな動きで場を沸かします。続いて、鈴やタンバリンなどの打楽器を使い、「にんげんっていいな」の曲をピアノの生演奏に合わせて、簡単なリズムを覚えていただき全員で合奏しました。

お次は「お座敷小唄」の替え歌で、「ボケない小唄」という曲を全員で歌いました。ご利用の方々も「ええこと言うなあ」「面白いな」と手拍子で歌われました。続いて本日のイベントの目玉、職員による出し物です。キューピー3分クッキングのテーマ曲「おもちゃの兵隊」をアップテンポでピアノ伴奏し、料理で使用するしゃもじを使ってステンレスボールや机をリズムカールに叩くパフォーマンスをしました。三角巾とエプロンを身にかけた衣装と、息の合った動きが会場のボルテージは最高潮に！最後は、「きつとありがとう」という曲に合わせて職員が手話をしながら感謝のメッセージを伝えると、感極まって涙される方もおられました。

いつも元気にピースに通っていただき、ありがとうございます。どうぞいつまでもお元気で。これからも共に時間を過ごせますように。

(※イベントは感染対策の下実施しています)(池口)

いつまでもお元気で

モンテッソーリケア 特集

5



様々な教具を取り入れて



見やすく興味を引く教具提示スペース



箸を使った「つまみ訓練」

手指と脳には深いつながりがあり、指先を動かすことで脳の血流が上がり、認知症予防になると言われています。また「服のボタンを自分でとめる」「箸で細かい物をつまむ」等の、日常生活動作の訓練は、手先の器用さの向上や握力などの筋力アップにつながります。一般に高齢になってくると運動機能や認知機能の衰えから動作の反応が鈍くなり、指先の作業に時間がかかることが増えてきます。その一方で、若い頃から仕事をされたり、裁縫や編み物などで指先を常に動かされていた方には、指先の器用さの問題は生じにくいとも言われています。リハビリステーションピースでは、モンテッソーリケアを行うにあたり、以前から折り紙や編み物などの活動を通じて指先の運動を行っていましたが、より多くのご利用の方に折り紙の運動を行っていただくよう、様々な教具を取り入れ、手指を動かす活動で脳の活性化を図っています。

ここで実際に使用している教具をご紹介します。「ペグ」はいくつかの色分けされたブロックを見本の通りに並べていくもので、つまみ動作や握力を鍛えたり、色分けを行うことで視空間認識の訓練や、集中力を養うこともできます。「パズル」「数字盤」「絵合わせカード」「ことわざカード」は指先の訓練のみならず、馴染みのある写真や言葉にふれ、楽しみながら思考力アップにもつながり、人気です。

ご利用の方が視認しやすいよう、教具の提示スペースはいつも整理整頓を心がけています。ご自身で選んで取り組まれるとそれだけ集中力も上がり、達成感を感じることが出来ます。

(池口)

もっと知りたい! リハビリステーションピース

24



『笑歌』

9月から新しいプログラム「笑歌(しょうか)」がスタートしました!歌って笑って音楽に合わせて体を動かしていくことで、「免疫力」「身体機能」「幸福度」の向上を目指します。具体的には「笑いヨガ」「健口体操」を行い、思いっきり笑って歌います。「スマイルステップ」ではアップテンポな曲に合わせてリズムカルに下肢を動かしていきます。初回から笑いが止まらず大変盛り上がりました!人気プログラムになりそうです。

今月の壁面創作



9月の壁面創作のテーマは「敬老のお祝い」でした。赤と白の紙テープを切り、カールを付け、ストローにさして彼岸花を表現しました。お祝いらしく「鶴と亀」やペーパーファンで作ったつるし飾りで、とても華やかな仕上がりになりました。ご利用の方々の健康と長寿をお祈りしています。

お知らせ 11月のイベント 『運動会』

11月1日(水)に『運動会』のイベントを開催します。毎年大盛り上がりの運動会!!今年もいい汗流してスポーツの秋を楽しみましょう。



(写真は昨年の運動会の様子です。)

モンテッソーリケアの 取り組み・活動



平和の折り鶴 ~社会とのつながり~

リハビリステーションピースでは昨年に続き「平和の折り鶴」に参加し「千羽鶴」を制作しました。これは、倉敷市が毎年8月にライフパーク倉敷で行っている「平和のつどい」に向けて千羽鶴を作成するもので、出来上がった作品は当日会場で展示された後、広島市の平和記念公園に送られています。今年も昨年よりも多くのご利用の方が参加してくださり、中にはご自宅で折ってきてくださる方もおられました。「鶴なら折れるよ」「私でも役に立つのなら」と、進んで取り組まれており、そんな皆様の生き生きとした表情を目の当たりにし、一緒に完成を目指しながら、共に平和を願うという一体感を得られたことを大変嬉しく思います。この活動が社会貢献となり、ご利用の方々の自信につながれば幸いです。

スタッフからのメッセージ

リハビリの視点からみた モンテッソーリケア

モンテッソーリケアを取り入れ、ご利用の方がその日の調子、その時の気分に合わせて何をしようか選択し、活動されることは、ご自分の身体に目を向ける良い機会にもなっているように感じています。また、今日は何をしようかと計画することで、脳活性となり、やりたいことを行うことで、意欲的に活動し、活動量の向上がみられています。リハビリを行う中でも、「創作がもっと上手できるように手のリハビリを頑張りたい」、「しっかり歩けるようになって家族と外出したい」とリハビリへの意欲にも繋がっています。今後もやりたい、したいという思いに寄り添いサポートしながら、一緒に一日一日楽しんでいきたいと思っています。

理学療法士
門屋 明秀



社会福祉法人全仁会
複合型介護施設 ピースガーデン倉敷 通所介護

リハビリステーション ピース

倉敷市白楽町 40
(倉敷平成病院 徒歩 3分)

☎086-423-2001



リハビリ
紹介動画

モンテッソーリケア紹介



Instagram

